

公認SAMコンサルタント アップデート研修 in **ITAM World 2018**

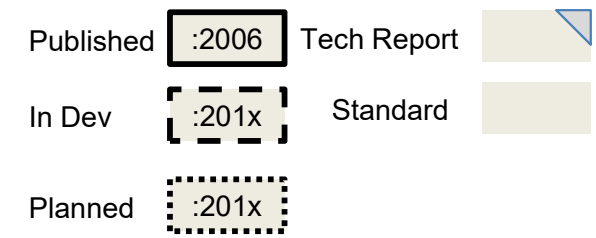
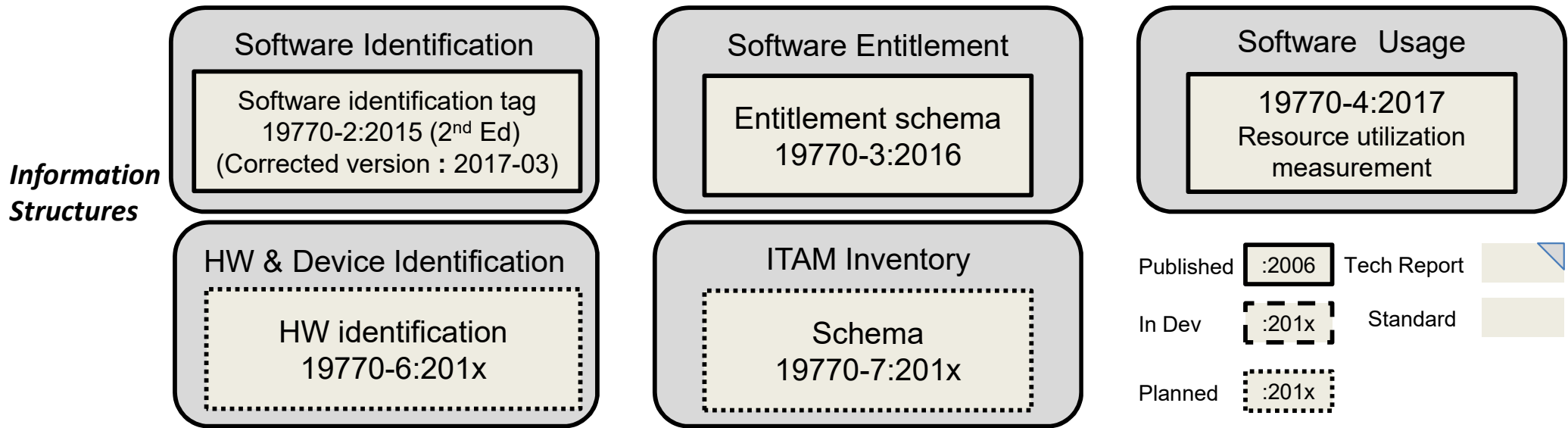
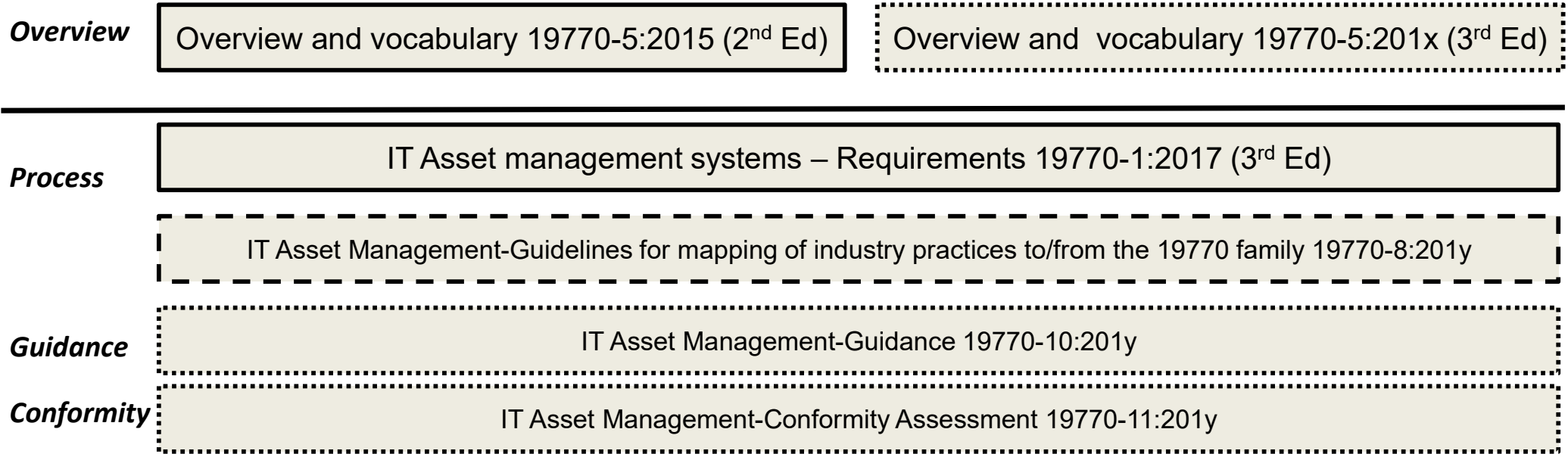
SAMAC CSC WG

Agenda

- ISO/IEC:19770シリーズについて
- IT資産管理基準、評価規準について
- SAMACが提供するツール類について

ISO/IEC:19770シリーズについて

ISO/IEC:19770 Family 2018R1



ISO/IEC:19770-1以外の主なシリーズ

IT Asset Management-Guidelines for mapping of industry practices to/from the 19770 family 19770-8:201y

- Guidelines for Mapping of Industry Practices to/from the ISO/IEC19770 Family of Standards
- ISO/IEC:19770ファミリーと業界標準（例：SAMAC管理基準、COBIT等）のマッピングを作成するガイドライン

Conformity Assessment
19770-11:201y

- Requirements for bodies providing audit and certification of IT asset management systems
- ISO/IEC:19770-1の認証及び監査を行う組織に対する要求事項

Guidance
19770-10:201y

- ITAM System – Guidance
- ISO/IEC:19770-1のガイドライン

19770-1以外の主なシリーズ

HW identification
19770-6:201x

- Hardware Identification Tags
- PC、サーバー、モバイルデバイス、IOTを対象としたハードウェア識別タグ

Schema
19770-7:201x

- Inventory Schema
- インベントリツールやITAMツール間でデータ連携を円滑に行えるよう、ITAMツールで格納するインベントリの項目名やフォーマットを定義
- Intelligent Asset Manager (IAM) をベースとする

<https://blogs.partner.microsoft.com/mpn/case-change-future-software-asset-management/>

SC7/WG21で研究中のテーマ

ITAM for IoT

ITAM in Cloud
- SaaS

ITAM in Cloud
- IaaS/PaaS

ITAM for
Cybersecurity

Blockchain
for ITAM

ITAM in
Continuously-
Updated
Endpoint
Environments

ITAM
Evangelism

IT資産管理基準、評価規準について

IT資産管理基準の体系

ソフトウェア資産管理基準Ver4.2

1.方針

2.体制

3.コンピ

4.保有

5.導入

6.コスト

7.セキュ

8.運管

9.ライ

IT資産管理基準Ver1.0

0.計画

1.方針

2.体制

3.コンピ

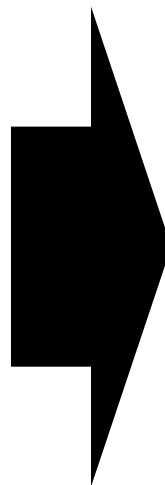
4.保有

5.導入

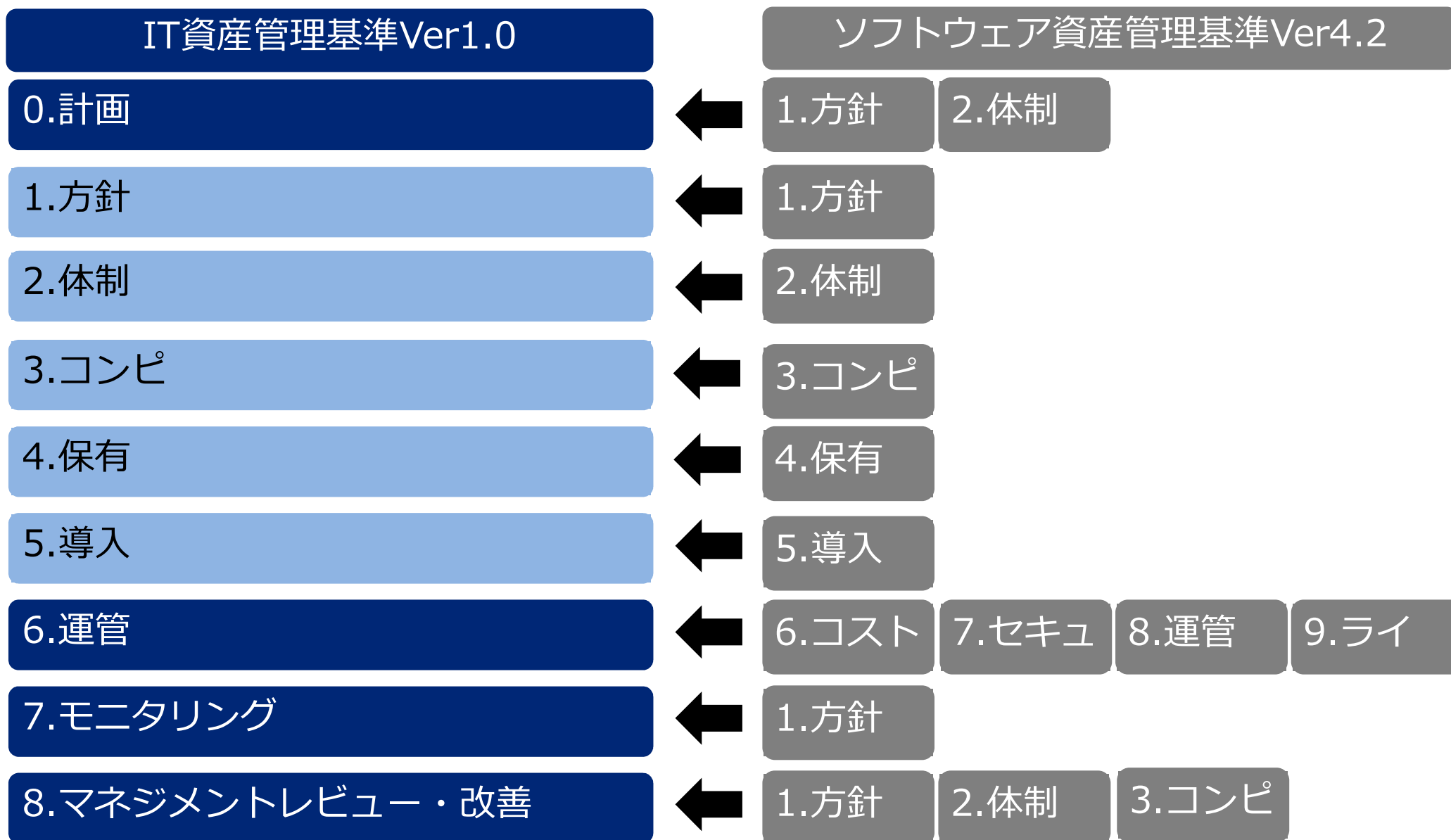
6.運管

7.モニタリング

8.マネジメントレビュー・改善



IT資産管理基準とソフトウェア資産管理基準の関係



新しい管理目標の概要①

IT資産管理の計画

- プランニングとして、SAMの計画 / リスクアセスメント / Tierの考慮 等を記載
- また、範囲の決定や組織のコミットメントなども、この管理目標に含まれる
- 上記に伴い、方針や体制からも一部管理項目や要件が、IT資産管理の計画に移動

モニタリング

- 他のISO規格と同様のパフォーマンス評価や内部監査を別項目に具体的に記載
- 方針の一部をモニタリングに移動

マネジメントレビュー及び改善

- これまでの規格・基準では明確に規定されていなかったマネジメントレビューを別項目として追記
- 方針の一部をマネジメントレビュー及び改善に移動

新しい管理目標の概要②

委託先の管理について (Outsourcing)

- 組織は、IT資産管理目標の達成に影響を与える可能性のある活動を委託する場合、関連するリスクを評価する
- 組織は、委託したプロセスや実施結果が、確実に実施されるようにする
- 組織は、IT資産の責任部署と外部委託者双方によって共有されるデータと情報がある場合、関連するリスクを評価する

組織と個人の責任について (BYOD・BYOC)

- 適用範囲にあるIT資産とその資産に保持されている情報に関する組織とその人員の責任が混在している場合、組織のIT資産管理目標の達成に影響を与えることのないよう、組織は、関連するリスクを評価し、これらの状況が管理されるようにする

その他

■ ISO/IEC:19770-1は他のISOのように審査員資格を作るのか？

- SAMACとしてのプライベート認証として対応するか、JIPDECのような他の団体と協働して公的認証資格として対応するかによって異なりますが、前述の通り、少なくともアップデート研修は実施します
- プライベート認証として対応する場合には、SAMAC認定の審査員資格制度を別途検討していくこととなります

■ ISO/IEC:19770-1 のJIS化は予定しているのか？

- 今年度後半もしくは来年度に発行される予定です

■ IT資産管理基準、IT資産管理評価規準はいつリリースされるのか？

- リリースの予定が大幅に遅れてしまい申し訳ございません
- 出来るだけ早急にリリースできるようソフトウェア資産管理基準・評価規準WGで準備を進めております

SAMACが提供するツール類について

SAMACが提供する支援ツール

分類	ツール名	概要	目的
ソフトウェア情報分析支援	ソフトウェア辞書	<ul style="list-style-type: none"> インベントリ収集ツールで取得されたソフトウェア名を元に、パブリッシャ名、区分、エイリアス情報を付与する辞書 	管理対象組織で使用されているソフトウェアの管理レベル設定を支援
	ソフトウェア除外キーワード	<ul style="list-style-type: none"> インベントリ収集ツールで取得されたソフトウェアから、パッチやドライバ等の情報を除外するためのキーワード 	
	ソフトウェア情報分析ツール	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア辞書の突合結果を集計するためのツール 	
規程・文書類策定支援	SAMバイブル	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア資産管理の規程、手続きなどの文書類のひな形類 ソフトウェア資産管理基準を考慮して作成された文書類 	ソフトウェア資産管理関連の文書類の整備を支援

除外キーワードイメージ

5つのパターンによるきめ細かいキーワード全4,168種類を設定。また、有償ソフトウェアのマイナーバージョンアップについては、214種類を設定。（いずれも2017年7月末現在）

キーワード
(Like "{*" And Like "*"*)
(Like "Acrobat*" And Like "Reader*")
(Like "Adam-*" And Like "オプション*")
(Like "Adobe InDesign*" And Like "Icon*")
(Like "Adobe*" And Like "Activeshare*")
(Like "Adobe*" And Like "Album Starter*")
(Like "Adobe*" And Like "Client*")
(Like "Adobe*" And Like "Files*")

(単純キーワードの例)

キーワード
Like "(DAO)*"
Like "(KB*"
Like "0.*"
Like "Adapter"
Like "Add-In *"
Like "Addin"
Like "component"
Like "corega *"

(And / Orを含む例)

キーワード
((Like "Any Video Converter*" And Not Like "Gold*") And (Like "Any Video Converter*" And Not Like "Pro*"))
(Like "Components*" and not like "Nero" and not like "Veritas Storage
(Like "Guide*" And Not Like "SAS*")
(Like "online*" and not like "McAfee*")
(Like "Adobe Flash *" And Not Like "Professional*" And Not Like "Builder*" And Not Like "CS*" And Not Like
(Like "driver*" And Not Like "Antenna*" and not like "Cleaner*")
(Like "ESMPRO*" And Like "Manager*" And Not Like "Event*")
(Like "Express edition*" and not like

(Not Likeを含む例)

キーワード
Like "AMD CodeAnalyst Performance Analyzer*"
Like "@rt web select pack for IBM ホームページビルダー*"
Like "Altair HyperWorks Master Installer*"
Like "Altera Chroma Resampler MegaCore Function*"
Like "Altera SONET-SDH Compiler*"
(Like "PDF Driver*" And Like "アドイン*")
Like "Autodesk T-Splines Plug-in for Rhino version*"
Like "Autodesk Vault Basic*"

(有償ソフトウェア戻しの例)

キーワード
Like "オプトメディア*"
Like "appbarioJP *"
Like "Babylon Chrome*"
Like "BrotherSoft Extreme*"
Like "Dealio Toolbar*"
Like "DefaultTab*"
Like "FoxTab *"
Like "Free File Opener*"

(アドウェア系戻しの例)

ソフトウェア情報分析支援ツール利用イメージ

インベントリ収集ツールで取得されたソフトウェア情報

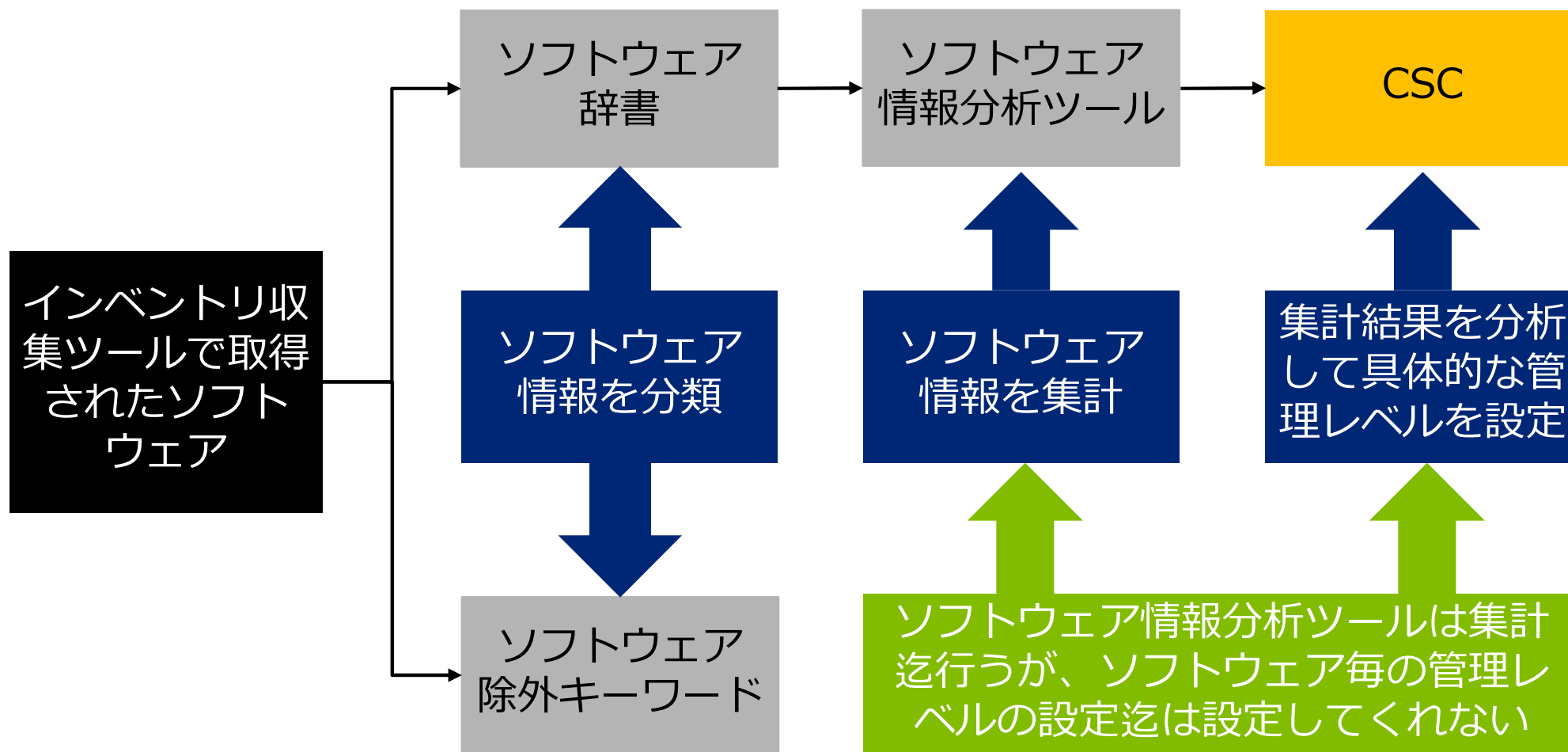


ソフトウェア種別	合計	インストール台数（単位：台）			
		6～10台	11～40台	41～100台	101台～
有償ソフトウェア	211	160	37	5	9
フリーウェア	202	156	15	9	22
ドライバ・ユーティリティ等	778	556	117	37	68
HOTFIX	401	234	33	52	82
アドウェア系	2	2	0	0	0
不明	57	42	7	2	6
文字化け	1	0	0	0	1
辞書未登録	231	175	45	6	5
合計	1,883	1,325	254	111	193
比率	100.0%	70.4%	13.5%	5.9%	10.2%

ソフトウェア情報分析ツール類を使えば上表の集計結果は自動的に作成可能

集計結果を分析し、具体的な管理レベルと管理手続きを策定するのがCSCの役割

ソフトウェア情報分析支援ツールとCSCの関係



SAM BIBLEコンテンツ構成（2規定・1手順書・5マニュアル ・4テキスト・1仕様書他5 1記録類=計64書式）

現状調査手順書兼解説書

送信シール番号確認書・使用済管理番号報告書・ハードウェア・ソフトウェア現状調査報告書・ハードウェア管理台帳（現状調査用）・ソフトウェア管理台帳（現状調査用）等13書式

研修テキストひな形

運用開始時研修用
資料サンプル

ライセンス調査手順
サンプル

ソフトウェア
ライセンスの理解

SAMI
般

SAM支援システム構築推奨項目

ソフトウェア資産管理規程

ソフトウェア資産管理手続

リスクアクセスメント
実施マニュアル

管理番号発行管理マニュアル

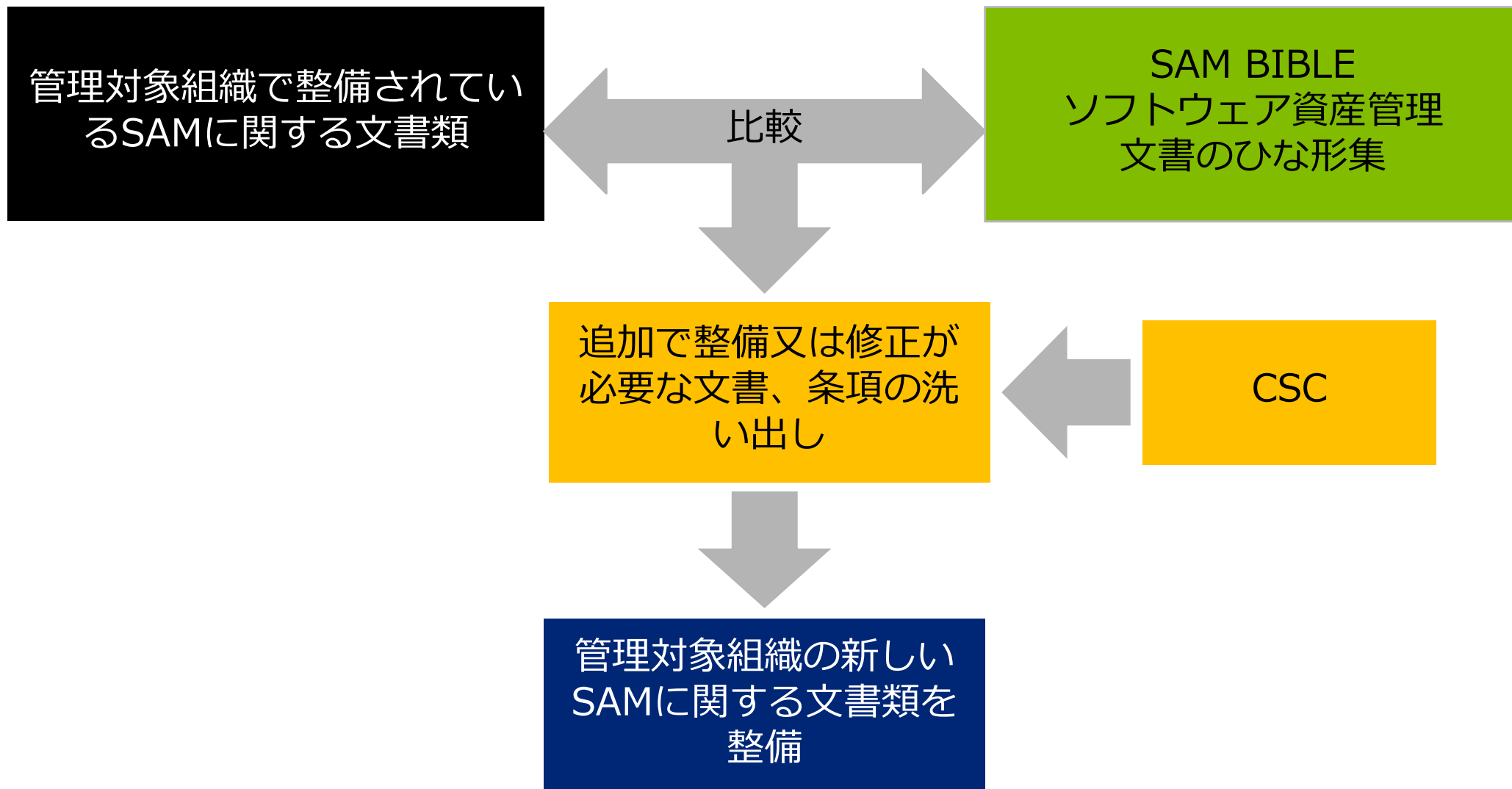
棚卸実施マニュアル

監査実施マニュアル

ソフトウェア資産管理関連文書
一覧表策定マニュアル

規程類体系図・管理体制図・プロセスアクセスメントサンプル・ソフトウェア使用の誓約書・ソフトウェア変更申請書等37書式

SAMバイブルとCSCの関係



ソフトウェア除外キーワード価格表 (2018年3月13日付)

対象	ソフトウェア辞書包括契約組織 (辞書包括契約組織)	その他 (辞書包括契約以外) の組織
契約条件	・ソフトウェア辞書包括契約期間中にSAMACが保有するソフトウェア除外キーワード全件の非永続使用権を提供	・購入時点又は保守契約期間中にSAMACが保有するソフトウェア除外キーワード全件の永続使用権を提供
保守契約	・ソフトウェア辞書包括契約に含む	・初回の購入時点で1年間の保守契約が付属 ・2年目以降は保守費用を支払うことで、保守契約の継続が可能 ※保守契約を継続せずに満了させた場合、保守契約の再加入は不可
追加データの提供	・ソフトウェア辞書包括契約期間中提供	・保守契約期間中提供
契約終了時の扱い	・ソフトウェア辞書包括契約が終了した場合、辞書包括契約組織及びその顧客に対するソフトウェア除外キーワードの使用許諾も終了 ・使用許諾終了時点で、辞書包括契約組織及びその顧客が保有するソフトウェア除外キーワードを削除しなければならない	・契約終了時点で提供された除外キーワードは契約終了後も使用可能
エンドユーザへの転売可否	・転売可能	
提供価格	ソフトウェア辞書包括契約の費用に含まれる	<ul style="list-style-type: none"> ■ ライセンス費用 (初年度年間保守を含む) <ul style="list-style-type: none"> ・ SAMAC会員企業 : 12万円 ・ SAMAC非会員企業 : 15万円 ■ 保守費用 (1年間) <ul style="list-style-type: none"> ・ SAMAC会員、非会員共通 : 3万円

利用ソフトウェア分析ツール価格表 (2018年3月13日付)

対象	ソフトウェア辞書包括契約組織	CSC構築マスター資格保有者所属組織
契約条件	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア辞書包括契約のオプションとして、<u>ソフトウェア辞書包括契約期間中使用できる非永続の利用ソフトウェア分析ツール使用許諾を提供</u> 	<ul style="list-style-type: none"> <u>非永続の利用ソフトウェア分析ツールの使用許諾を提供</u>
契約期間	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア辞書包括契約期間に準ずる 	<ul style="list-style-type: none"> 利用ソフトウェア分析ツール提供日の翌月から1年間
契約継続	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア辞書包括契約期間中継続 	<ul style="list-style-type: none"> 利用ソフトウェア分析ツール使用許諾期間中に、1,500件以上の未突合ソフトウェアのデータをSAMACに提供した場合、使用許諾期間終了月から1年間使用許諾期間が延長 上記条件を満たさない場合でも、年3万円の使用料をSAMACに支払うことで契約の継続が可能
契約終了時の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア辞書包括契約が終了した場合、ソフトウェア辞書包括契約締結組織（包括契約企業）に提供する利用ソフトウェア分析ツールの使用許諾も終了 使用許諾終了時点で、辞書包括契約組織で保存されているすべての利用ソフトウェア分析ツールを削除しなければならない 使用許諾期間中、利用ソフトウェア分析ツールから出力されたレポートは契約終了後も使用可能 	<ul style="list-style-type: none"> 使用許諾終了時点で、CSC構築マスター資格保有者所属組織で保存されている全ての利用ソフトウェア分析ツールを削除しなければならない 使用許諾期間中、利用ソフトウェア分析ツールから出力されたレポートは契約終了後も使用可能
利用ソフトウェア分析ツールから出力されるレポート	<ul style="list-style-type: none"> ①利用ソフトウェア分析ツールレポート ②利用ソフトウェア分析ツールに投入したインストールソフトウェアと突合出来たソフトウェア辞書の全項目 	<ul style="list-style-type: none"> ①利用ソフトウェア分析ツールレポート ②利用ソフトウェア分析ツールに投入したインストールソフトウェアと突合出来たソフトウェア辞書の種別情報 ※突合出来たソフトウェア辞書の全項目が必要な場合、突合したレコードの情報をSAMACに提供し、対象のレコードを購入することで取得可能
エンドユーザへの転売可否	<ul style="list-style-type: none"> 利用ソフトウェア分析ツール自体の転売は不可。但し、利用ソフトウェア分析ツールから出力されるレポートを使用したサービスの提供は可 	<ul style="list-style-type: none"> 利用ソフトウェア分析ツールから出力されるレポートを使用し
提供価格	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア辞書包括契約の費用に含まれる 	<ul style="list-style-type: none"> 初年度無料 2年目以降有償の契約継続を希望する場合：3万円（年間）

SAM BIBLE価格表 (2018年5月25日付)

対象	エンドユーザー向け		構築マスター向け
提供ファイル形式	PDF形式	オリジナルファイル形式	PDF形式
仕様	PDFにエンドユーザーの組織名を記載し提供	改変可能なファイル形式で提供	PDFに構築マスターの名前を記載し提供
提供者 ⇒ 使用者	①SAMAC⇒CSCC⇒エンドユーザー ②SAMAC⇒構築マスター取得者（取得者が在籍する組織）⇒エンドユーザー ③SAMAC⇒SAMAC会員企業 ④SAMAC⇒SAMAC非会員企業	SAMAC⇒構築マスター所属組織	SAMAC ⇒ 構築マスター研修受講修了者 ※構築マスター研修修了時に無償提供
SAMACからの販売価格	①～④共通：10,000円 ※上記価格をエンドユーザー向けの定価とし、仕切値としてSAMAC会員企業並びに構築マスター取得者（取得者が在籍する組織）に対して20%引きの8,000円で提供。	88,000円 ※上記価格をエンドユーザー向けの定価とし、仕切値として構築マスター所属組織に対して20%引きの70,400円で提供。	無償
SAMACへの報告事項	エンドユーザーの組織名	特になし	特になし
エンドユーザーへの転売可否	①と②の形態は転売可能	転売可能	転売不可
改変情報の提供	なし	CSCCに対して改変箇所の情報を提供	なし
使用条件	<ul style="list-style-type: none"> 文書策定サービスが付帯しないSAM BIBLE単体の転売も可 エンドユーザーの使用条件は一般組織向けに準ずる PDFに記載された組織内でのみ使用可能。但し、集中管理等により複数の組織に対して同一の管理規程が適用される場合、適用範囲内の組織で共用することを認める。 SAM BIBLEの使用可能期間はSAMACからSAM BIBLEを提供した日から1年間に限定（SAM BIBLEを元に作成した資料並びに出力した資料は許諾期間後も使用可能） 	<ul style="list-style-type: none"> 構築マスター取得者による文書策定サービス提供に伴う使用に限る 文書策定サービスを伴わないSAM BIBLE単体の転売は不可 シリアル番号が記載された証書・メディアをSAMACから提供し、構築支援を受けたエンドユーザーが保管 購入に際し、提供組織以外にSAM BIBLEのコンテンツを提供しない旨の使用許諾条件に同意することが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 構築マスター自身の自己学習目的に限定 構築マスターの自己学習あるいは顧客への紹介以外での使用は不可（ただし、紹介にあっても第三者への配付は不可）
ボリュームディスカウント	・10本～20本：10%引き ・21本～30本：20%引き ・31本以上：40%引き ※過去に同一組織が購入した本数に応じて上記の割引価格を適用する ※料金は前払いとする 計算例1：1本1万円のSAM BIBLEを40本を一括で購入した場合の計算式 ⇒計算例1：9本×8,000円+11本×8,000円×(1-10%) + 10本×8,000円×(1-20%) + 10本×8,000円×(1-40%) = 199,200円 計算例2：1本1万円のSAM BIBLEを最初に5購入し追加で10本購入した場合： ⇒計算例2：5本×8,000円+4本×8,000円+6本×8,000円×(1-10%) = 115,200円		

まとめ

まとめ

■ ISO/IEC:19770シリーズについて

- ✓ ISO/IEC:19770ファミリーは-1以外にも多くの規格がリリースされています。
- ✓ ISO/IEC:19770ファミリーからIT資産管理の今後の方向性を確認することが出来ますので、皆様が提供するサービス、システムに関係するものがありましたら、動向をウォッチすることをお勧めします。

■ IT資産管理基準、評価規準について

- ✓ IT資産管理基準、評価規準は現在鋭意作成中です。
- ✓ リリースされましたら別途アップデート研修を開催いたしますので、CSCの皆様は受講をお願いいたします。

■ SAMACが提供するツール類について

- ✓ SAMACが提供する支援ツールの活用をお願いします。

SAMAC

一般社団法人IT資産管理評価認定協会